



# Via Mobility Japan 会社概要

2026年2月  
Via Mobility Japan株式会社





# 目次

1. 会社概要
2. システム概要
3. 事例紹介

# Viaの概要: 世界最大の公共交通ソリューション提供グループ

800+

都市に導入

40

カ国に展開

1.6億

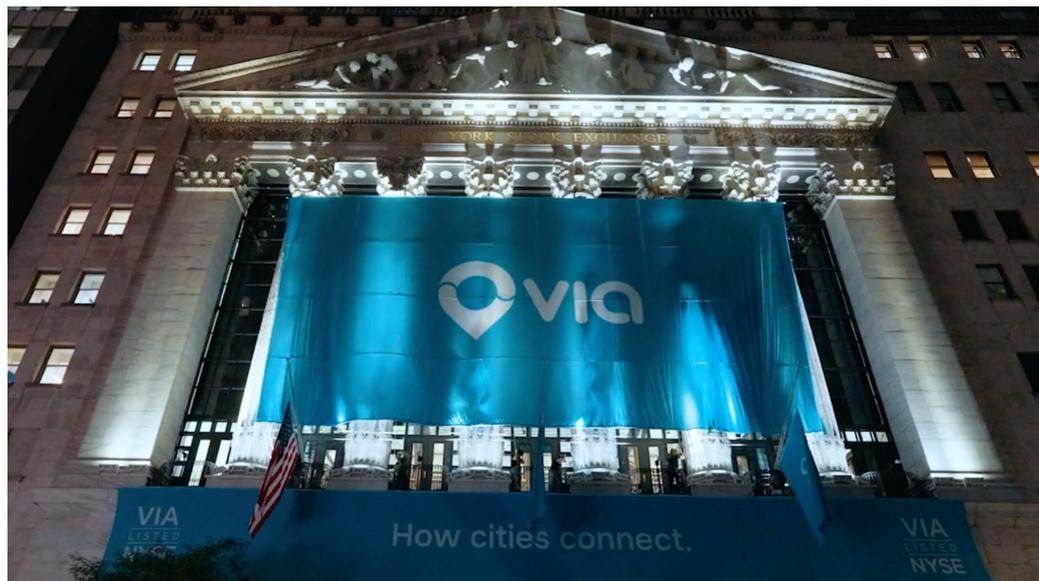
乗車数(累計)

AIオンデマンド交通提供 実績: 18年  
開発投資額: 1,000億円以上  
開発体制: 600名

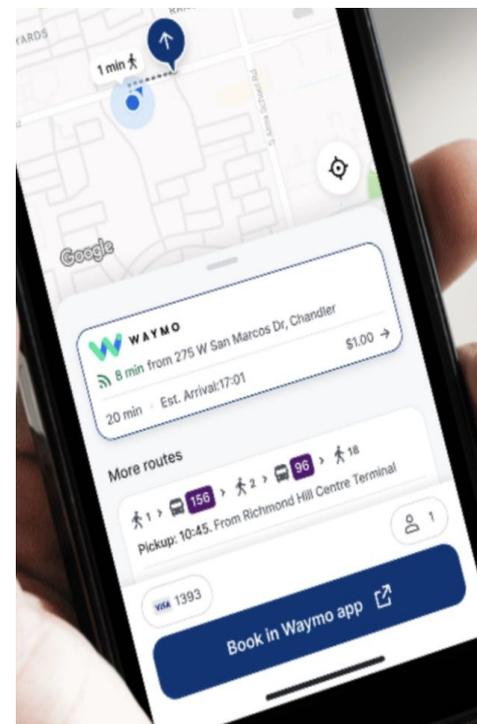


# 世界最大規模の開発投資額と事業規模

- 2025年9月 ニューヨーク市場に上場
- Google自動運転 - Waymoとも提携



NYSE

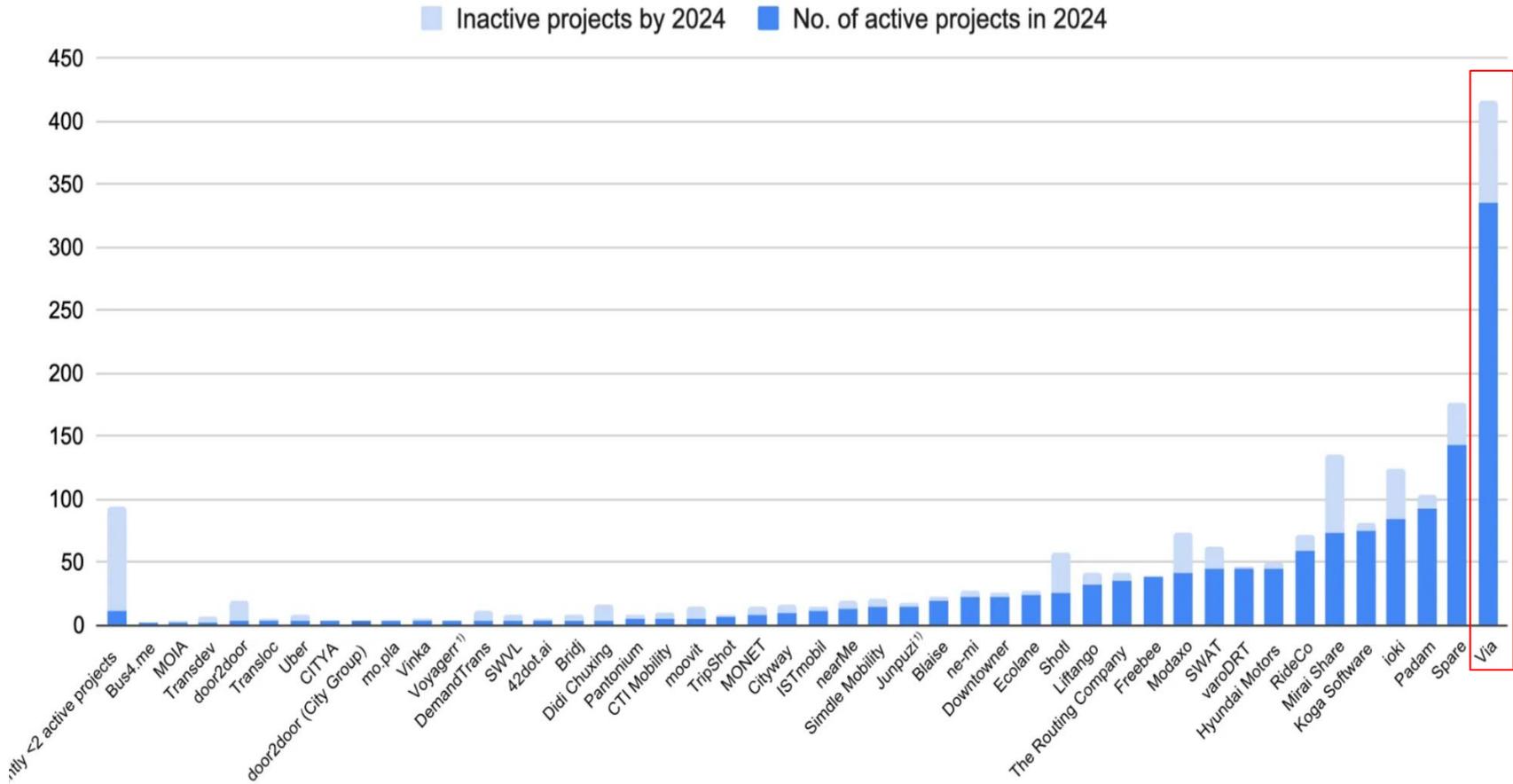


WAYMO

# 世界の導入件数NO.1

ViaのAIオンデマンド交通システムは累計で世界750都市の住民に1.3億回使われてきました。結果として乗客アプリは高齢者や障がいを持つ方にも使いやすいユニバーサルなデザイン(国際規格WCAGに対応)でその使いやすさが特徴になっています。運行管理者やドライバーも数十万人規模の利用者の意見を元に使いやすさを改善してきました。  
 750都市で収集した交通ビッグデータを活用し最大規模の学習データで進化してきたAIが製品の随所に生かされています。

## Number of On-Demand Transportation Projects by Tech Provider



日本各地でのサービス展開状況(一部掲載)日本国内は4年前から徐々に展開。  
2024年から直接販売に加え日本国内大手企業とパートナー制度を中心に拡販しています。



ふれあい さわやか  
**山梨中央銀行**

**三十三銀行**

三井住友海上  
**MS&AD INSURANCE GROUP**

**名鉄観光**

**SYMBA HOLDINGS**

**d docomo business**

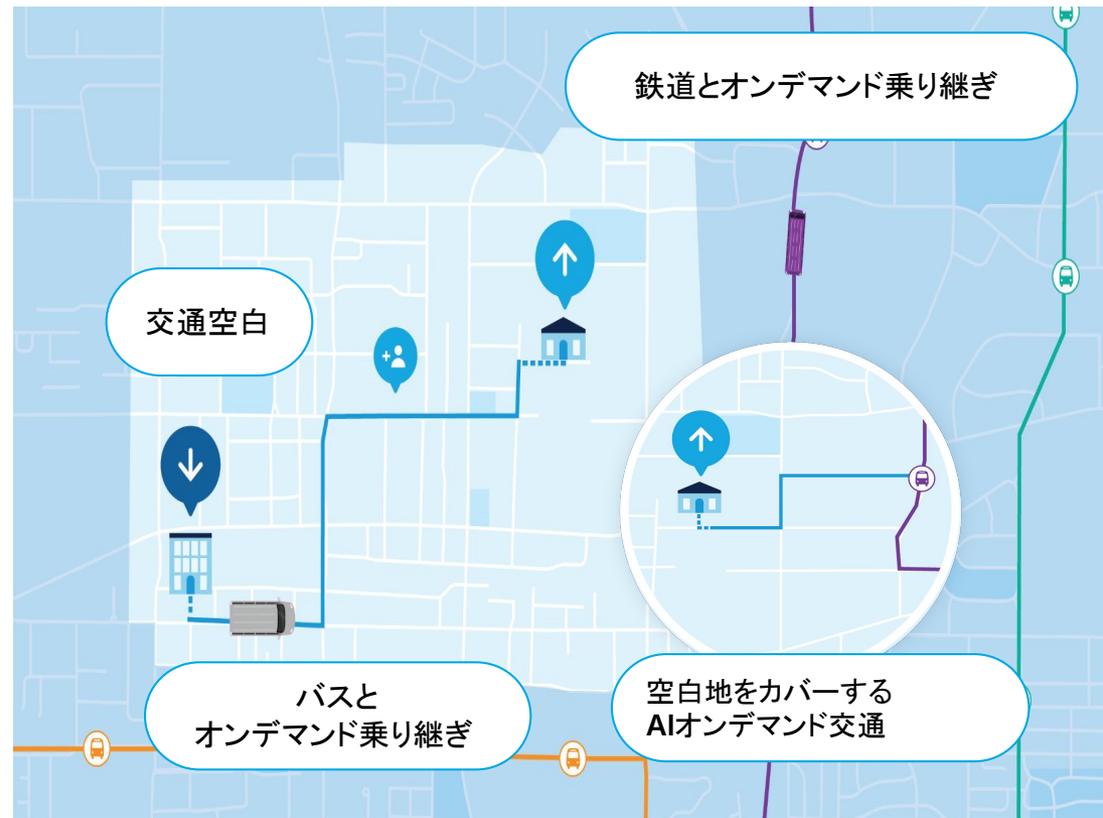
**NTT Communications**

**SCREEN**

enagia  
**ITOCHU**  
MORI BUILDING

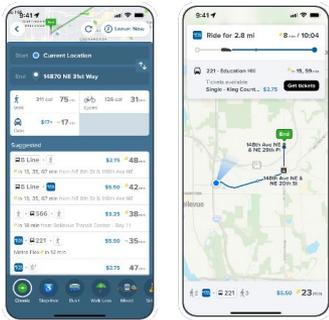
# これからの交通の姿：複数の交通モードを最大限に活用する総合戦略

- 1 既存の交通網と主要な目的地を繋ぐための穴を埋める
- 2 既存の定時路線と接続することで、最終目的地までの移動を補完する
- 3 収益の低い提示路線を廃止してオンデマンド交通で代替える
- 4 高齢者・障がい者・福祉施設や通勤者の移動利便性を向上

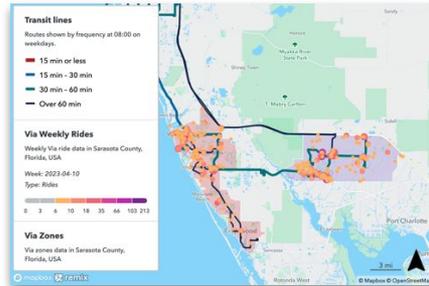


# 交通データの収集・分析・運行までシステム統合しワンストップで提供

## 統合された経路計画 観光サービス



## 統合的な交通網の計画

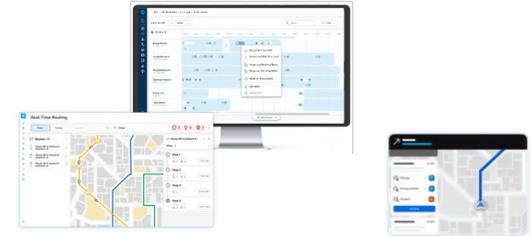


## オンデマンド交通

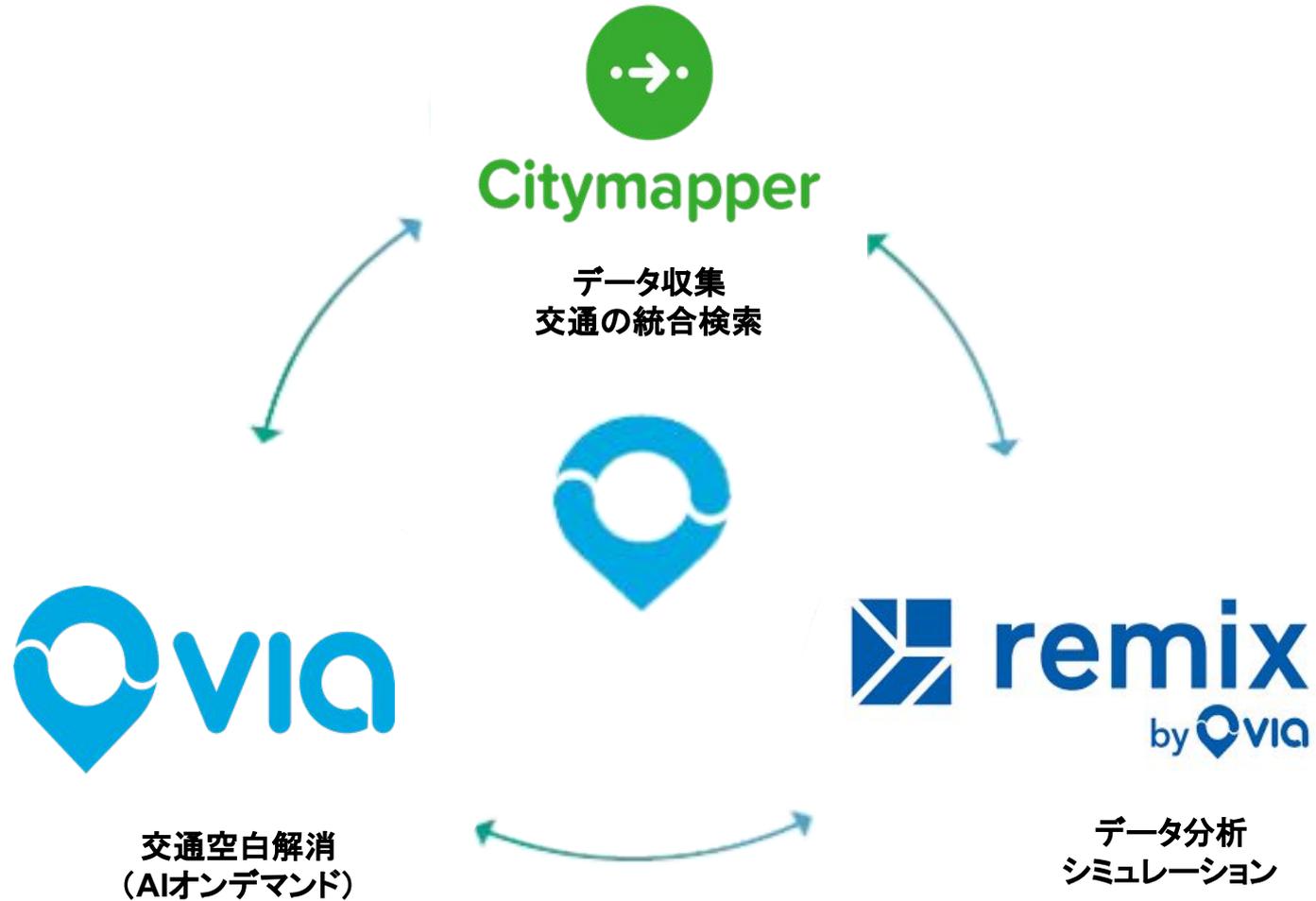
オンデマンド公共交通

介護・福祉送迎

スクールバス



# データ収集・分析・実行・改善の継続的な改善サイクル



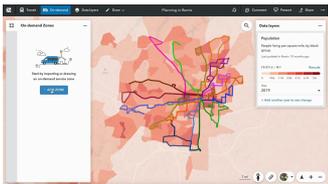


# 目次

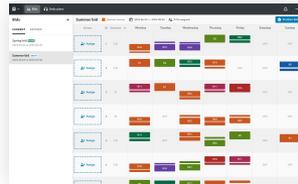
1. 会社概要
2. システム概要
3. 事例紹介

# 交通データ・利用者の行動データに基づく継続的なAIの進化 AIをツールとして使い・人間の戦略立案のスピードと精度を高める

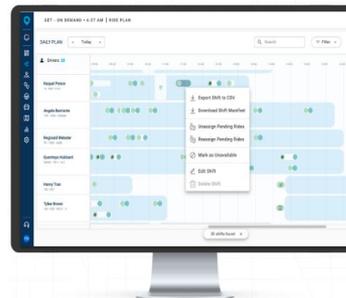
## 計画



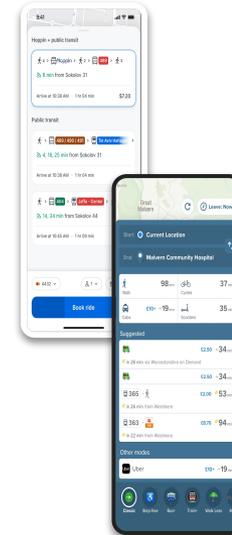
## バス運行計画



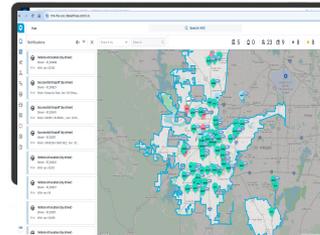
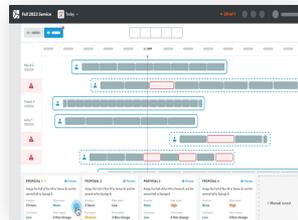
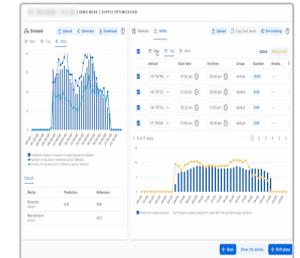
## オンデマンド交通



## 乗り継ぎ検索 一括予約



## データ収集 と分析



# 世界最大の導入規模のAIオンデマンド交通システム「Via」

## 乗客アプリ



乗客アプリは導入地域・導入事業者毎にカスタマイズ。どんな環境からも利用できる。アプリ・LINE・ウェブサイト・ガラケーSMS・固定電話の自動音声発信に対応。

動作環境: iOS, Android, LINE、固定電話ガラケー、ウェブブラウザ

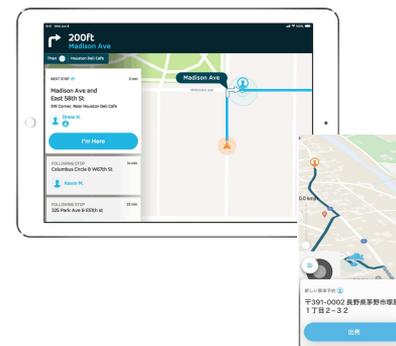
## 管理者システム



電話予約・ドライバー管理・車両管理・運行実績データの取得や分析が可能。特別なソフトのインストールは不要でブラウザ (Chrome) で利用可能。

動作環境: iOS, Android, ウェブブラウザ

## ドライバーアプリ



運行・休憩・シフト開始終了が可能なナビゲーション機能付きアプリ。iOS、Androidに対応。

動作環境: iOS, Android

# Viaが提供する交通サービスの 4つの特徴

## 1. 全ての人に平等な移動の権利



一般乗客にも・補助が必要な人にも・子どもたちにも・全ての人々が安心して生活に必要な自由な移動ができる公共交通全体の改善

## 2. 交通空白地域ゼロを実現



ドライバー不足・居住地の分散等の難しい条件の地域においても、全ての人々が平等の近さ・待ち時間で交通利用できるようにバスとオンデマンド交通を組み合わせる

## 3. 利便性・効率性を実現



利用者の属性に応じて、異なるAIのルールを組み合わせることで、利便性と運営コスト削減の両方をバランスよく両立させる

## 4. 定期的な分析とチューニング

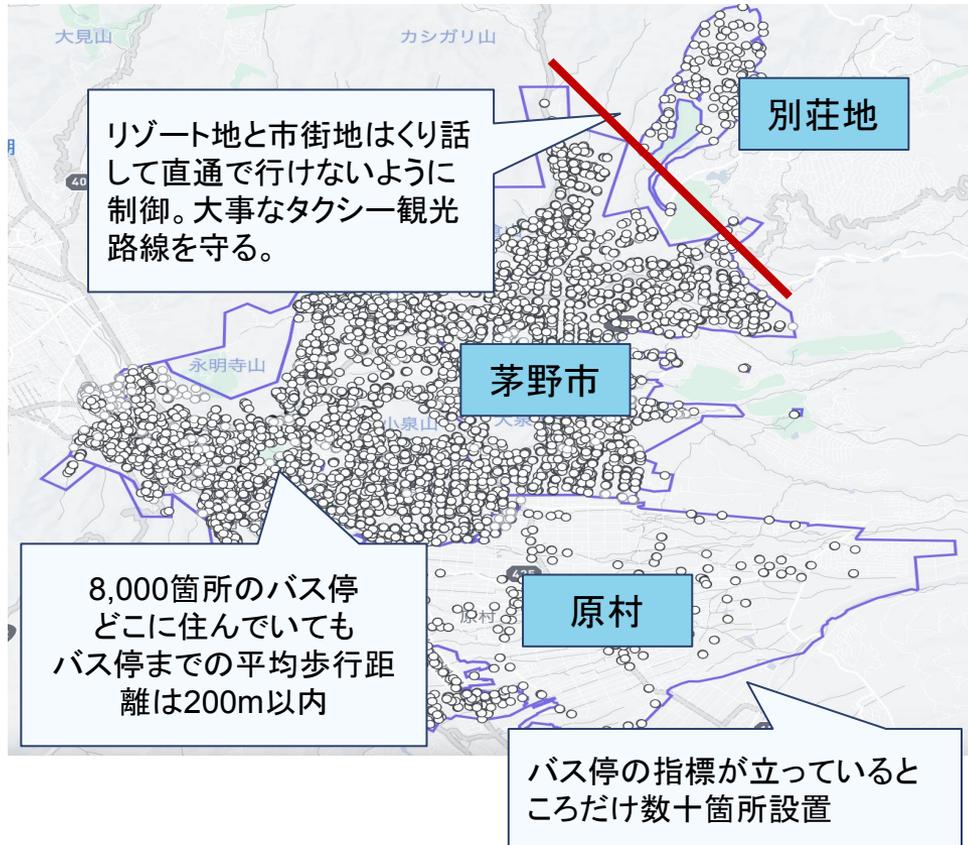


運行開始後が最も重要。利用者・ドライバーのデータを活用して常に改善し続けるシステムの柔軟な変更。

# 「交通空白ゼロ」のための乗降地点

地域内に数千箇所のバス停を網羅的に設置し交通空白をゼロに  
全ての家がバス停に近く、家の立地による不便さ・不公平さを解消

当社:数百~数千箇所までゾーンによって最適なバス停  
数やゾーン同士の運行方式を細やかに設定可能

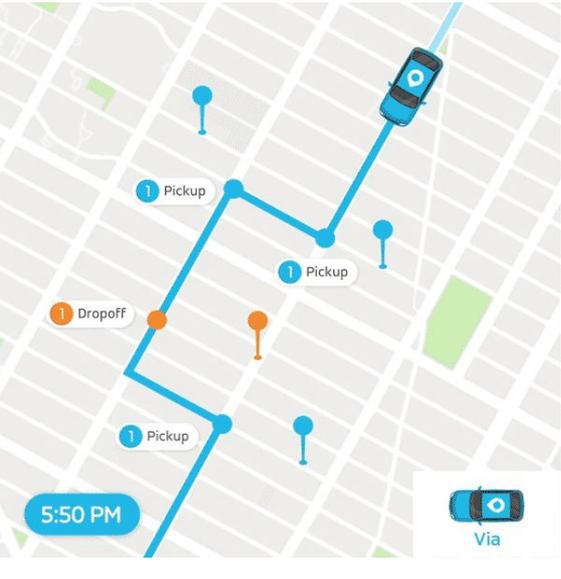
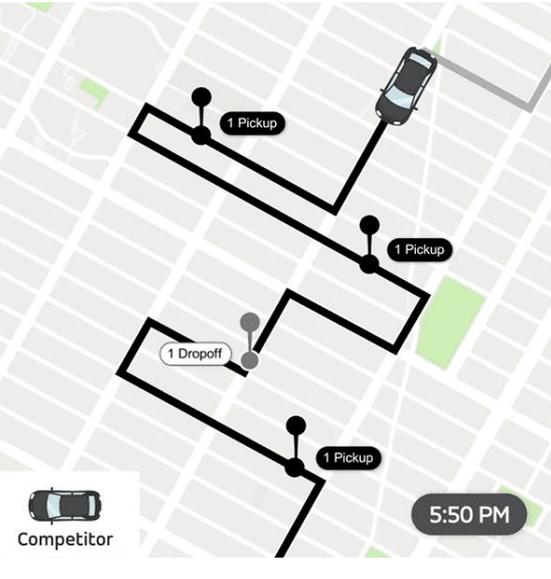
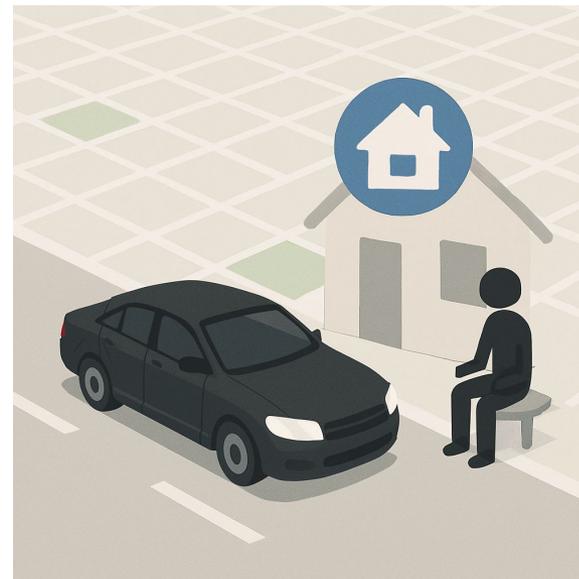


## 他社事例・諏訪市:固定バス停380箇所に限定



# 「全ての人に平等な移動の権利」を提供する属性配車

- 高齢者や電話予約者にはドアツードアや最も近いバス停を固定するなど分かり易さを重視
- アプリ利用者や即時配車には AIに最適なバス停を選ばせることで「待ち時間は短く」「1台の車両により多くの人を乗合させる」ことも可能になります。
- 複数のパターンを共存させることで、運行収益率を改善することができます

AIがおすすめを選ぶ(効率)	一番近いバス停が選定される	ドアツードア
		
<p>一般向け 学生や若いアプリ利用者</p>	<p>高齢者向け 自分で歩くが いつも決まった場所で移動</p>	<p>介護向け 基本的に歩かない</p>

# AIとドライバーアプリの精度を高める独自地図の特徴

## 独自開発の地図レイヤー 走行実績の学習と反映・正しい乗車位置の特定

例) 乗客がアプリで車道の真ん中に乗車希望のピンを落とす

①アプリ画面表示レイヤー  
一般的な地図(他社と同様)

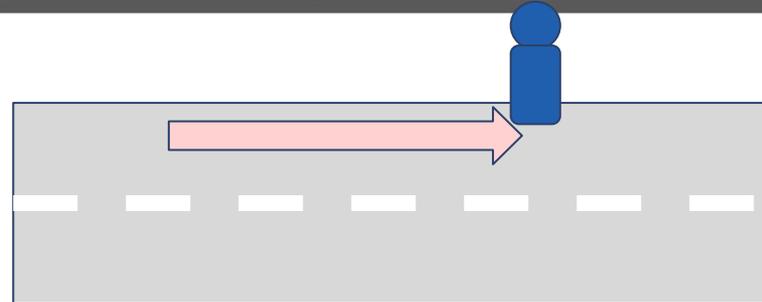
②AI学習レイヤー  
ドライバーの走行速度をAIが学習

補正: 独自レイヤーで正しい位置へ補正  
最寄りの停車位置で目的地の沿った場所に修正し、乗客とドライバーに指示を出す

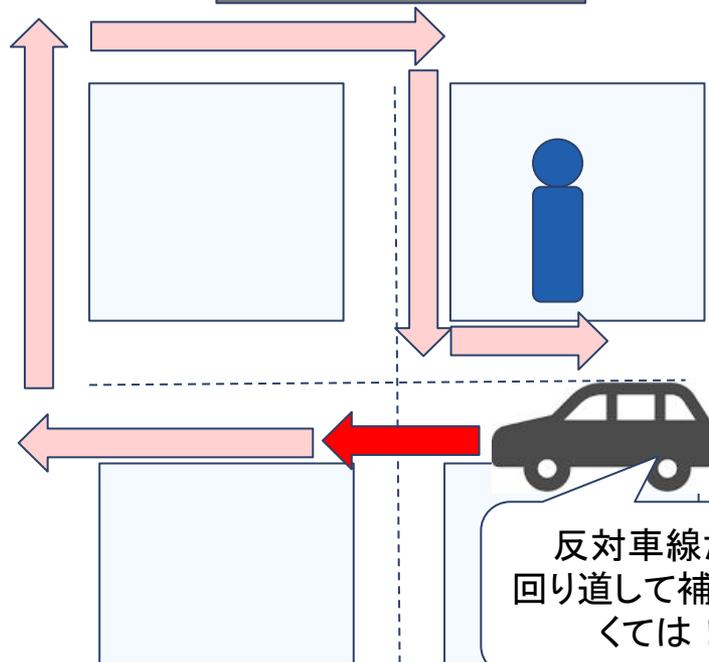
### ③独自レイヤー

- カスタマイズ可能な地図レイヤー
- 乗降ポイント、進行方向、私有地内の道路作成
- 冬の道路速度調整
- リアルタイムの道路封鎖など

## 正しい位置によるナビゲーション 乗客が接している車線と進行方向を正しく認識

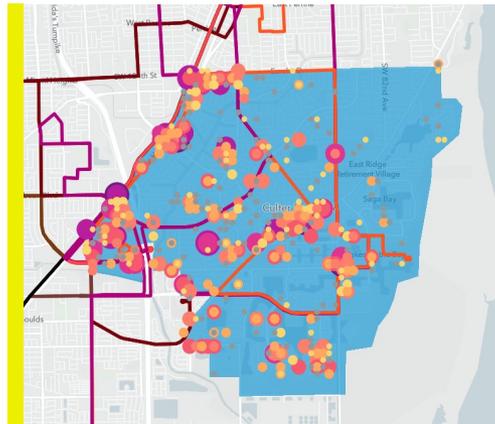


### 間違いの例

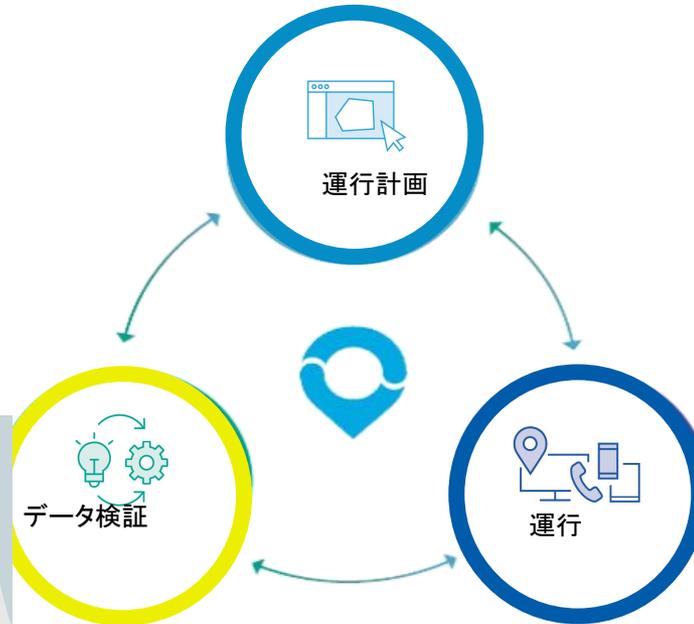


# 定期的なチューニング

- 数百通りシステムの設定メニューを活用しサービスの改善施策を実施
- 利便性を保ちつつ、1台あたりの輸送客数を増やすための効率性もバランスよく両立



継続的なデータ分析

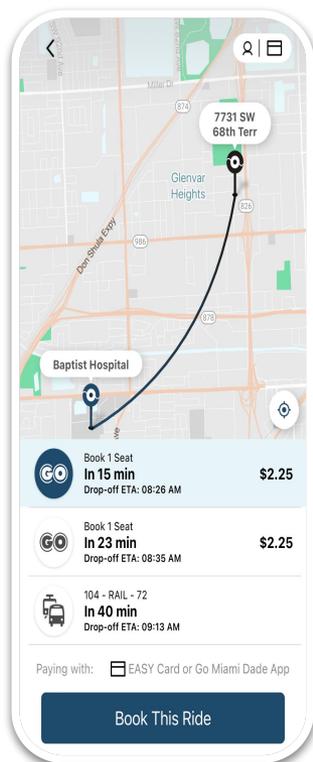


## 参考データ: 運行効率の比較(国内)

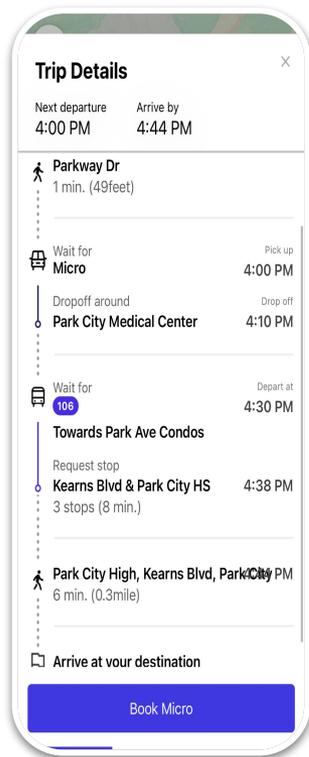
### 1時間平均の1台あたりの輸送能力を地域比較

システム	A社	Via	Via	B社	Via
場所	長野県 塩尻市	長野県 茅野市	茨城県 高萩市	群馬県 昭和村	鳥取県 智頭町
人口	65,000	56,000	25,000	6,600	5,700
自治体面積	290 km <sup>2</sup>	266km <sup>2</sup>	193km <sup>2</sup>	64km <sup>2</sup>	224km <sup>2</sup>
運行面積	38km <sup>2</sup>	81km <sup>2</sup>	30km <sup>2</sup>	64km <sup>2</sup>	224km <sup>2</sup>
面積比較: 大きい順	4番	2番	5番	3番	1番
車両台数	6	8	4	2	5
1日の乗車人数	170	250	150	36	160
1時間1台あたりの乗車人数	2.2	2.8	5.7	2.25	4

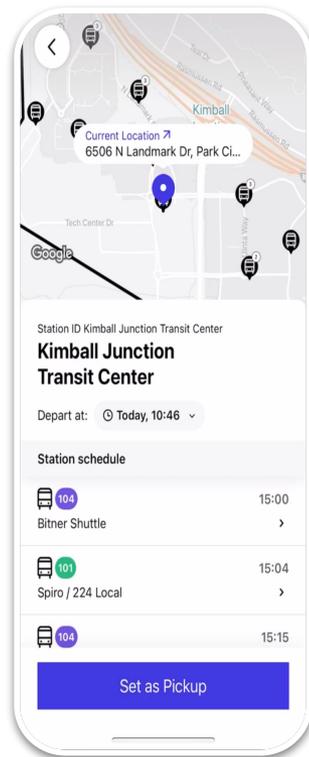
# Viaのオンデマンド交通アプリは全ての交通モードをワンストップで最も効率的に使えるユーザー体験を提供します。



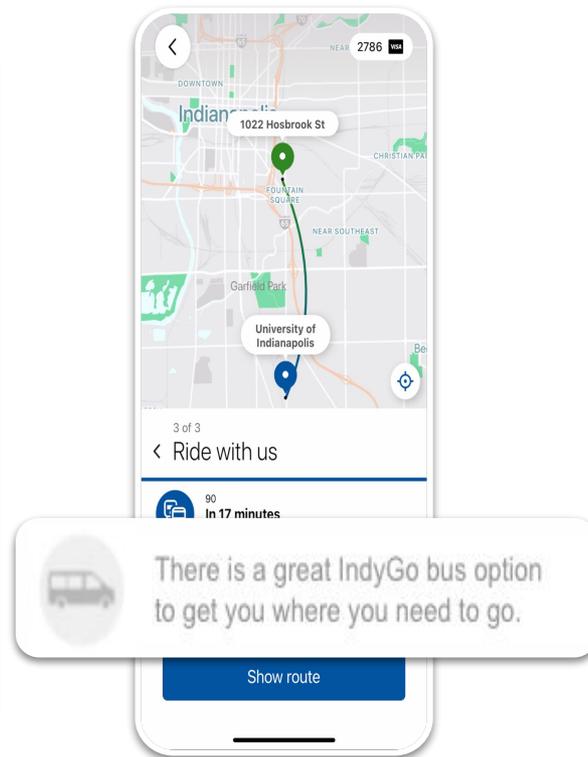
**マルチモーダル**  
固定ルート+オンデマンド・オプションの提示



**インターモーダル**  
固定路線への接続が可能な複数路線のオプション



**停留所スケジュール**  
バス停留所と時刻表は、ポイント・オブ・インタレストとして表示されます。



**モードの優先順位**  
ルールに基づき、固定ルートネットワークにトリップを誘導



# 目次

1. 会社概要
2. システム概要
3. 事例紹介

# 各地の特徴に合わせて多様に変化させる導入モデル

## 一部バス路線の温存 時間帯別オンデマンド



朝晩の通勤・通学時間帯は定時定路線バス、同じバス車両で日中はAIオンデマンドバスとして運行。マイカー(自分で運転、送迎)からの移行により、日中の利用者が最大**1.4倍**に増加。

## アナログ乗合タクシーへの AIシステム導入



磐梯町では電話受付でアナログ運行していた乗合タクシーをAIシステムによる運行に切り替え。乗客がシステム導入前と比較して**1.8倍**に増加。お盆期間の夜間運行や子ども無料など地域住民の要望に応えたサービス設計。

## 交通空白地帯の 自家用有償輸送



バス・タクシー事業者ともに完全撤退済みの地域における地域内全面的な自家用有償運行。シルバー人材を中心にドライバーとコールセンタースタッフの採用。自宅などを待機場所にシフトに入る日を住民同士で分担して運行を支える。

## 自動運転を オンデマンド交通に



高齢化の人口割合はミネソタ平均の2倍で週末と夕方以降は1~2日前に電話予約による交通手段しかないという交通困難地域。自動運転車は火~日まで毎日運行し、現在は乗車運賃無料の公共サービスとして運行中

福島県会津若松市:

# 共創MaaSで令和7年定時路線とオンデマンドの乗り継ぎアプリにアップデート



AIで課題解決へ 会津若松のオンデマンドバス  
9割が継続望んだ新サービス

【ルート検索・提案】



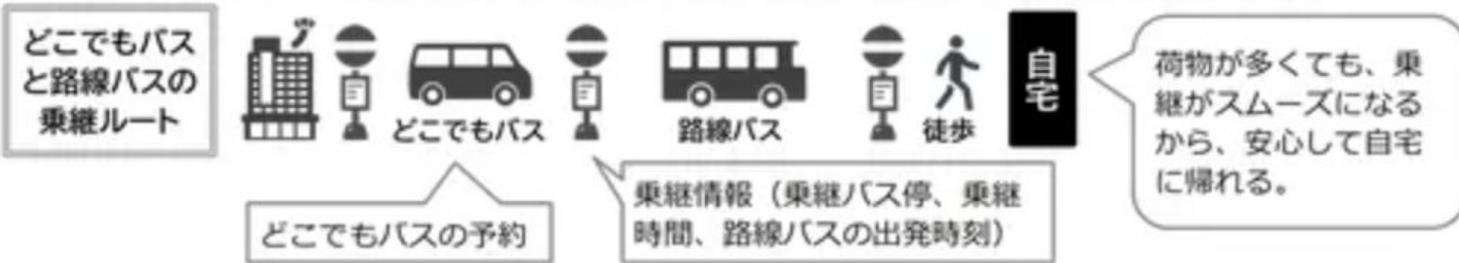
出発地・目的地・希望日時を入力すると、出発地から目的地までのルート提案。

「どこでもバスのみルート」「乗継ルート」「路線バスのみルート」の3種類を提案。

ルートの詳細（バス停、時刻、乗継情報など）を表示。そのまま、どこでもバスの予約も可能。

※開発中の画面であり、実際の画面とは異なる場合があります。

➤ 買物：大型スーパーからの帰り道、アプリで乗継情報を確認でき、乗継がスムーズに



# 長野県 茅野市・原村 バス路線維持困難地域の全面オンデマンド化

## 【利用者の声】



茅野市内中心市街地の13路線の市民バスを8台のAIオンデマンド交通へ切り替えし、交通利用者が増加。後に、隣接する原村にもサービス拡大し、両自治体を行き来する共同サービスとして運行中。

公平な利便性のため、全ての立地の自宅から一定距離内に仮想バス停を網羅的に設置(約 8,000箇所)。

利用者を3つの属性に分け、属性ごとに乗降ルールを定めて運行。

- ・標準: 標準AIが選択する最寄りの仮想バス停
- ・福祉: 福祉役所への申請で自宅前に仮想バス停を設置
- ・アプリ限定: AIが一定距離内で効率が良いバス停をリアルタイムに計算(必ずしも最寄りバス停ではない)



家族にお願いする遠慮なく病院にもジムにも行けます

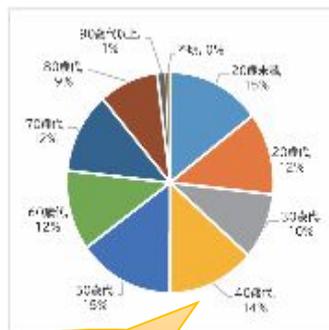


自分の好きなところに親にお願いしないで行けるということがすごく便利だなと思いました



家族の送迎の時間が減って家事ができたというところが非常に助かっています

年齢別登録者数



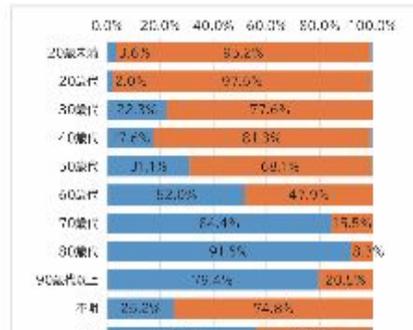
各年代偏りなく登録

年齢別予約件数



70歳代以上 50%を占める

年齢別予約方法(電話とアプリ)



70歳代以上 80%が電話予約

# 茅野市の継続的な取り組み: 関係各者

